



スクールリポート

SCHOOL REPORT 52
学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での学校行事「海に親しむ日」の様子と、「和太鼓の演奏」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

神戸小学校「海に親しむ日」

ふるさとの海で地域の魅力を再発見！

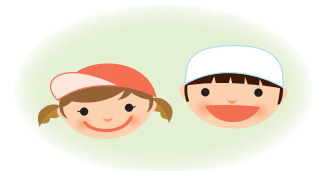
神戸小学校の特色の一つである「海に親しむ日」は、今年で9年目になる学校行事です。この行事は、子どもたちが、ふるさとのよさを発見することをねらいとして秋に開催しています。

東ヶ谷の海岸に全校児童が集合し、活動を始めます。5・6年生は地元の網元さんの協力と指導を得て、地引き網を行います。その間、1～4年生は海岸清掃をしたりサンドレリーフを作ったり、さまざまな活動しながら待ちます。5・6年生の引いた網が砂浜に引き揚げられると、あちらこちらで子どもたちの大きな歓声があがります。魚が網を飛び越えて跳ね、大漁の予感。このワクワク感が子どもたちに伝わり、いよいよ魚との「ふれあいタイム」です。魚の種類の多さや活きのよさに、行事の盛り上がりは最高潮に達します。最後は、海風に吹かれながら、お弁当とPTA役員の方々に準備していただいた豚汁をほおぼります。

天候などにより「海に親しむ日」の活動がなくなることもあります。子どもたちはこの行事が大好きです。この海での行事を通して、子どもたちは、さらにふるさと「神戸」への愛着を深めているようです。



●大漁だった地引き網



●学芸会での和太鼓演奏

高松小学校「和太鼓演奏」

豊かな心を育てる伝統芸能！

高松小学校では、平成22年度から、5・6年生が地域の和太鼓グループ「龍宮」の方を講師に迎え、和太鼓演奏の指導を受けています。短期間に集中して練習し、「楽～RAKU～」という題名の楽曲を学芸会で発表しました。体育館に響く太鼓の音は迫力があり、地域の方々に好評でした。この年は、講師の方から和太鼓をお借りしましたが、平成23年に魅力ある学校づくり事業で長胴太鼓を3台揃えました。子どもたちは、自分たちの和太鼓で練習することができる

ようになり、5年生と6年生がペアになって演奏の仕方を教える姿も見られるようになりました。この活動を通して子どもたちは、日本の楽器や伝統芸能にも興味を持つようになっています。今後も、和太鼓演奏を高松小の伝統として育てていこうと考えています。

